

樹木と都市環境 公開シンポジウム

2019年
12月 21日 土
午後 1時30分
～4時30分

参加無料
どなたでも
参加できます

 はじめに「緑地の消失による都市の砂漠化」
佐藤正典（鹿児島大学理学部教授）

 講演1 「まとまりの緑～点から線へ、そして面へ～」
野崎勉（鹿児島大学名誉教授/環境カウンセラー）

 講演2 「ドイツの樹木保護と都市環境」
中島大輔（鹿児島大学法文学部教授）

 全体討論

主催 シンポジウム「樹木と都市環境」実行委員会
共催 日本科学者会議 鹿児島支部
後援 鹿児島大学教職員組合、鹿児島日独協会

問い合わせ先 佐藤正典
099-285-8169
sato@sci.kagoshima-u.ac.jp

いま地球規模での温暖化とそれにともなう災害が大きな問題になっています。都市ではヒートアイランド現象が温暖化を増幅しています。このシンポジウムでは、街中に残っている樹木や土の地面に目を向けて、その保全の意義を考えます。また先進的なドイツの都市での取り組みを学び、鹿児島に住む私たちの課題を考えます。

